



RI 会長テーマ

2024~2025 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 山口 徹
副会長 今野 義也
幹 事 谷地 保



= 会長指針 =
笑顔でロータリー

．．． 例 会 記 録 ．．．

10月第3回例会 2024年10月17日 (木)

ソング : 君が代 4つのテスト ボックス : 19,000円 (報告者 磐井公洋会員)
本日出席率 : 54.55% 前回修正後 69.79% (メークアップ 0名) (報告者 船砥俊昭会員)

★ 会長の時間 : 山口 徹 会長



みなさんこんにちは。まずは2年ぶりの新入会員の卓話が聞けることをうれしく思います。さて今回は行動計画推進リーダーの説明会で勉強したロータリーの豆知識の話をします。間違っていたら指摘して下さい。

ロータリーのゾーンは現在、世界を34のゾーンに分割し、ゾーン内のロータリアンの数が等しくなるようになっています。日本は現在3つのゾーンに分割されています。1ゾーン当たりの会員員数は約3万5千人です。

当地区は第1ゾーンです。

地区は世界で525に分けられ (日本は34地区) RI 役員である地区ガバナーが各地区を統括します。

東北6県ロータリー会員数

地区	県	人口 (万人)	会員数 (人)	対10万人当たり会員数
2830	青森	120.6	1,119	92.8
2540	秋田	92.5	1,112	120.3
2520	岩手	117.2	890	75.9
2520	宮城	224.2	1,131	50.4
2800	山形	102.8	1,500	146.0
2530	福島	179.5	2,158	120.2

※人口：2024年1月総務省統計 会員数：令和6年8月16日時点

- ・会員数が一番多い地区は福島県
- ・会員数が一番少ない県は岩手県
- ・対10万人当たりの会員数が一番多い県は山形県です。福島県、秋田県も多いです。
- ・対10万人当たりの会員数が一番少ない県は宮城県

(ちなみに岩手県は5番目に少ない)

質問：なぜ第2520地区は宮城県と岩手県の2県なのか？

答え：地区は1,100人以上のロータリアンを有する必要がある。岩手県は少ないので宮城県と統合。

(2003年から統合)

以上で会長の時間を終わります。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- ❖ ガバナーエレクト国際協議会出席並びに菅原裕典 PG 規定審議会出席の壮行会の案内が届いています。

日時 12月1日(日) 12:10～ 場所 ホテルメトロポリタン仙台
会費 8,000円 締切 11月11日

2 ガバナーエレクト事務所より

- ❖ 次年度クラブ情報登録のお願いが届いています。 締切 11月15日

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

フリーアワー：新入会員卓話

★ 磐井公洋会員



私は大船渡西ロータリークラブに入会させていただき早1年が経とうとしております。右も左もわからないうちにあっという間に1年が過ぎたように感じます。そんな中、谷地幹事から卓話をしてくださいと言われ、そもそも卓話とはどんなことを話せばいいのか聞いたところ自身の事、会社の事とかでいいんだよと言われたので今回の卓話では、私の生い立ち、大船渡西ロータリークラブに入会したきっかけ、会社のことについて話したいと思います。まずは私自身の話をさせていただきます。

名前：磐井 ^い公洋 ^{きみひろ} 生年月日：昭和57年5月14日 出身：盛町

好きなもの：ビール(現在体調の都合で飲めません。) 趣味：ゴルフ

資格：給水装置工事主任技術者・排水設備工事責任技術者・浄化槽管理士

<略歴>

2001年に岩手県立大船渡高等学校卒業後進学の為埼玉県へ。その後埼玉県で就職し東京都、埼玉県で約13年間過ごす。

そもそもその当時は地元大船渡に帰ってくるという選択肢はなくそのまま関東で生活していくつもりでしたが、父親が病気にかかり自分のやっている仕事を手伝ってほしいと言われ、地元に戻る決心をし、2014年に地元大船渡に帰郷。大船渡に帰ってきてから父親がやっていた仕事を手伝っていたが父親の病気が悪化し仕事を続けていくことが難しい状態になり、叔父である前代表取締役様に誘われ1年後の2015年に有限会社東環に入社。2018年10月に同社代表取締役に就任。そして現在に至ります。

次に大船渡西ロータリークラブに入会したきっかけをお話いたします。

まず私はロータリークラブという名前は知っておりましたが、どんなことをしている団体なのかというのは全くわかりませんでした。なぜ大船渡に2つのロータリークラブが存在するのだろう。そのくらいロータリークラブに対しての知識が無いのに私は入会しました。なぜそんな何もわからない人間が大船渡西ロータリークラブに入会したのか順を追って説明いたします。

私は以前大船渡青年会議所という団体に所属しておりました。

2018年に大船渡青年会議所は創立50周年を迎えておりました。周年式典の準備等で忙しくしていたのを今でも覚えています。そんな中私は周年式典の司会を任せられ極度の緊張により眠れない日々を過ごしておりました。式典当日大勢の来場者の前で司会者席に立った瞬間足が震えました。人生で一番緊張したといっても過言ではありません。なんとか司会をこなし無事式典が終了したとき、当時大船渡西ロータリークラブの会長で、お仕事の方でもお世話になっている水野会員に「立派だったぞ」と声をかけていただきました。

そのついでに「青年会議所終わったらロータリー誘うからな」とも言われました。これがロータリークラブ

と私のファーストコンタクトです。

その後も水野会員と仕事の話をしているときにロータリーのことをちょっとずつ刷り込まれ、青年会議所を卒業しました。青年会議所を卒業した後 1 年間は何の話もなかったので YEG からの勧誘を躲しつつ生活していたところ、ある日水野会員から電話が私のところにあり、仕事の電話かな思い電話に応答しました。ここからはその電話の再現をしたいと思います。

私「もしもし〜。」 水野会員「はい水野で〜す。」 私「お世話になっております。」 水野会員「磐井君あのさ〜。」 私「はいなんでしょう？」 水野会員「決まったからさ〜。」 私「何が決まったんでしょう？(仕事の話かな?)」 水野会員「ロータリーの入会が決まりました。」 私「えっ？社長私入るとも入らないとも言っていないんですが…」 水野会員「もう決まっちゃったから入会申込書書いてもらいたいからいつ会社行けばいい？」 私「明日の午後であれば…」 水野会員「わかりましたじゃ明日いくからよろしくね。」 私「はいお待ちしております。よろしくお願いします。」

こうして私は次の日入会申込書を書き、正式に大船渡西ロータリークラブに入会しました。

これが私の入会するきっかけです。まだまだわからないことだらけですが、今後ともよろしくお願い致します。

最後に私の会社の事をお話しします。

会社名：有限会社東環 昭和 43 年 10 月創業

主な業務内容：浄化槽設置工事・浄化槽維持管理・給水、給湯、排水設備工事

略歴でもお話ししましたが私は 2015 年に叔父の会社である有限会社東環に入社しました。前職とはまったく畑の違う仕事であったため、かなり困惑しながら仕事をし、経験を積みながら 2018 年 10 月に代表取締役就任しました。

それでは当社のメイン業務である浄化槽に関することを簡単にお話ししたいと思います。

・そもそも浄化槽とは何なのか？

浄化槽とは、微生物の働きなどを利用して汚水を浄化し、きれいな水にして放流するための施設ですが、各家庭の敷地内に設けられていて、最も身近な污水处理施設です。以前は水洗トイレからの污水だけを処理する単独処理浄化槽を設置出来ましたが、現在（平成 13 年 4 月以降）は、下水道予定処理区域（7 年以内に下水道が供用開始になる区域）以外では、水洗トイレからの污水と、台所排水、浴室排水、洗濯排水など（これらを生活雑排水といいます）を一緒に処理する合併処理浄化槽でなければ設置できないことになっています。

なお、浄化槽を規制する法律として「浄化槽法」という法律があり、様々なことが定められています。

・浄化槽で污水がきれいになる仕組み

水の汚れの原因となるものには、汚水中の固形物と水中に溶け込んでいる有機物質（溶解性物質）とがあります。固形物は沈殿・浮上させることで分離したり、ろ材等でこしたりします。溶解性物質は微生物などの働きで除去します。

浄化槽には種々の処理方式がありますが、ここでは、家庭に設置される合併処理浄化槽でよく用いられている嫌気ろ床接触ばっ気方式（嫌気ろ床槽、接触ばっ気槽、沈殿槽、消毒槽から構成されています）を例にとって浄化の仕組みを説明します。

污水は、まず嫌気ろ床槽（第 1 室）に入り、固形物を取り除くとともに「ろ材」についての嫌気性微生物（酸素のないところで働く微生物）が溶解性物質を除去します。つづいて、もう一つの嫌気ろ床槽（第 2 室）を通り、同じ処理を繰り返してから、接触ばっ気槽に入ります。ここでは、接触材の表面についての好気性微生物（酸素のあるところで働く微生物）がブローから送り込まれる空気の助けを借りて、溶解性物質を食べながら（除去しながら）成長します。次に沈殿槽に送り込まれ、汚れの原因である溶解性物質を食べ成長した微生物のかたまりである汚泥を沈殿させます。最後にきれいになった処理水を塩素剤で消毒してから放流します。

以上のように浄化槽の機能を維持するため、国家資格である「浄化槽管理士」という資格を取得して維持管理を行っております。簡単ではございますが私の会社の紹介とさせていただきます。

以上私の卓話とさせていただきます。本日はありがとうございました。

★ 松岡研二会員



2024年7月に入会しました松岡研二です。よろしくお願いします。
入会のきっかけですが以前は父の松岡克之が入会しておりました。父も楽しくロータリー活動に参加していたと思います。その後、斎藤俊明様より入会のお誘いを受け入会しました。

今日は自己紹介と会社の紹介をさせていただきます。

昭和51年5月10日 大船渡町 生まれ 大船渡小学校、大船渡中学校、大船渡高校、東北工業大学卒業しました。

1999年4月茨城県ひたちなか市の日立グループの会社にて業務を開始プログラミング、3DCAD、医療機器設計業務を行う。

2006年12月、宮城県にてバイク店に働き始める。

2010年9月有限会社松岡冷機に入社。

2018年2月より代表取締役になり現在に至ります。

有限会社 松岡冷機は昭和54年（1979年）創業者 松岡克之がその当時大船渡市内に業務用冷蔵庫、冷凍庫を扱う会社がないとのことで起業しました。業務用の大きい冷蔵庫、プレハブ冷蔵庫の仕事が沢山あったと聞いてます。現在は業務用冷蔵機器に加え、厨房機器、業務用エアコンの販売や修理をおもに行っています。

2010年に大船渡の実家が大変だからという理由で帰ってきました。

実際は仕事が忙しい訳でもなく、会社の将来をどうしたら良いのかを考えた父の行動だったと思います。帰ってきた当時は仕事の内容を覚えることが多く、先輩社員と一緒に歩くことが多かったです。

業務の多くは機械の修理がありました。機械の動きや現状を見てどこが壊れているのか、自分で経験していかないとわからないので一人前になるのに約2～3年かかりました。父の仕事を見てみると何回みても故障箇所を見つけるやり方を自分のものにすることができなかつたので、自分で考え思考錯誤して覚えていきました。結果それが良かったのか、今では初めて見る機器の故障でもどこが壊れているのか見つけるのが楽しみになりました。社員にはこの楽しみを全く理解されておりません。

会社の経営理念「お客様、従業員の心、物の幸福を追求し同時に人類、文化、社会の発展に貢献すること」そして松岡克之がよく言っていたのは「世のため人のためになるかどうか」ということでした。

このことを思い出して日々の業務をこなしています。

時代に合わせてエアコンの空調機器の販売修理が多くなってきています。これからの時代に合わせて、冷やす機械全般のメンテナンスやお客さまにあった予算と機器販売ができればありがたいことだと思います。有限会社 松岡冷機は連絡が来たらすぐ修理に伺える「パッと修理できる会社」で大船渡の地域に貢献していきます。例えば業務用の大きなプレハブ冷凍庫の故障がありなかにアワビ、ウニなどの高価な海産物が入っている場合、すぐに復旧したいと思った場合は松岡冷機に相談ください。また機械を長く使いたい場合修理で機器寿命をのばすことも可能です。

社員の技術レベルは個々に違い得意分野がありますが、ちなみに私は大体ができますので一度お話いただければと思います。以上自己紹介と会社の紹介でした。